

近年大きな変化が

平成 25 年度(現高校 2 年生)の選抜

① 私学への就学支援が引き続き実施された。

- ★平成 23 年度、24 年度に続き “国・大阪府からの就学支援” があり、私学を選択しやすい状況はあった。
- ★しかし「支援は授業料だけ(教科書代他は変わらず有償)」「授業料 1 期分は一旦納入する」等が広く理解されたこともあり、私学専願受験する人は減った。

② 前期・後期選抜の再編

- ★後期だけで選抜を実施していた普通科(専門学科を併置していない学校)や普通科総合選択制などの高校について、募集人員の一部を前期に分割する。(右に一覧表)
- ★前期比率の抑制という観点から、1 校あたりの分割募集数は 2 学級(80 名)までとする。
- ★前期においては、「3 教科型の学力検査」に合わせて、受験者の能力・適性や意欲を見極める手段として「特色ある選抜方法」を実施する。(→実技検査、面接、小論文等)

③ 選抜日程の繰り上げ

- ★前期・後期とも実施時期が約 1 週間早くなった。
- ★私学の入試は変わらないので、公立を受けるにあたっては今までよりも早く決めないといけない。
- ★後期の出願期間が 2 日間に減った。

平成 26 年度(現高校 1 年生)の選抜

詳細は進路学習や進路説明会でお知らせします。

① 普通科の学区撤廃

- ★府下の公立高校のうち、普通科・普通科総合選択制の高校においては、保護者・受験者の居住地により受験できる高校が決められていた(4 学区制。うち十三中学校の校区は 1 学区)が、府下全域の受験が可能になった。

② 「高等学校等就学支援金」制度の変更

- ★平成 26 年 4 月以降入学生から、「市町村民税所得割額」が 30 万 4200 円(年収 910 万円程度※目安)以上の世帯では、公立高校でも授業料を負担することになった。

大阪府公立高等学校(昼間の高等学校)入学者選抜の変更点の概要

平成 24 年度選抜まで	前期選抜		後期選抜	
	学力検査	*以外	学力検査	*以外
全日制 普通科単位制	国数英社理	×		
全日制 専門学科	国数英	△		
全日制 総合学科(クリエイティブスクール除く)	国数英社理	○		
全日制 普通科(専門学科併置校)				
全日制 普通科(専門学科併置校除く) 普通科総合選択制			国数英社理	×
クリエイティブスクール			国数英	○

○ 実施 △ 一部で実施 × 実施しない

平成 25 年度(現高 2) 選抜～	前期選抜		後期選抜	
	学力検査	*以外	学力検査	*以外
全日制 普通科単位制				
全日制 専門学科	国数英	○		
全日制 総合学科(クリエイティブスクール除く)				
全日制 普通科(専門学科併置校**)				
全日制 普通科(専門学科併置校除く) 普通科総合選択制			国数英社理	×
クリエイティブスクール	国数英	○		

○ 実施 × 実施しない

(注 1) * は実技検査、面接、小論文等を指す。

(注 2) ** 平成 26 年度選抜より、夕陽丘高校・東住吉高校では前期 40 人募集あり。

(注 3) いずれの場合も選抜資料として調査書を用いる。

「平成 27年に入学する者の選抜」という意味なので、イコール「現在の中 3 の入試」です。

平成27年度大阪府公立高等学校入学者選抜の主な日程

選抜の種類	出願	学力検査	合格者発表
前期 入学者 選抜	平成27年 2月16日(月)・17日(火) 〔専門学科のうち音楽科について、 平成27年 2月3日(火)・4日(水)〕	平成27年 2月23日(月)	平成27年 3月2日(月)
後期 入学者 選抜	平成27年 3月9日(月)・10日(火) 〔通信制の課程については、 平成27年 3月8日(日)・9日(月) ・10日(火)〕	平成27年 3月16日(月) 〔通信制の課程については実施せず〕	平成27年 3月23日(月)

※ 詳しい事は後日発表されます。

将来の自分のために、今できること…

朝、早めに起きて余裕をもって登校しよう！

5分間早く登校するだけでも、心に余裕を持って学習の準備ができます。朝早めに起きる習慣があると、何かがあっても対処することができます。

高校に行っても社会に出ても「毎朝決まった時間に決まった場所に行く」のは基本中の基本です。中学3年生の皆さんは遅刻している場合ではありません。

あせらない。あきらめない。

目の前のこと取り組める人が、成し遂げることができる人です。

まず、授業を大事にしよう。